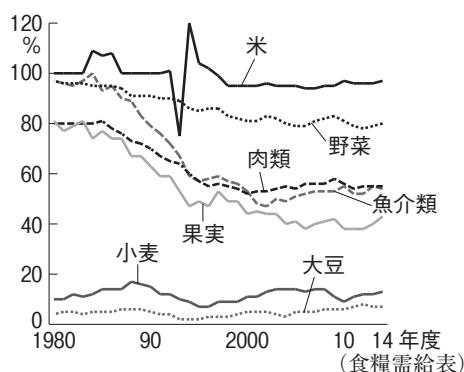


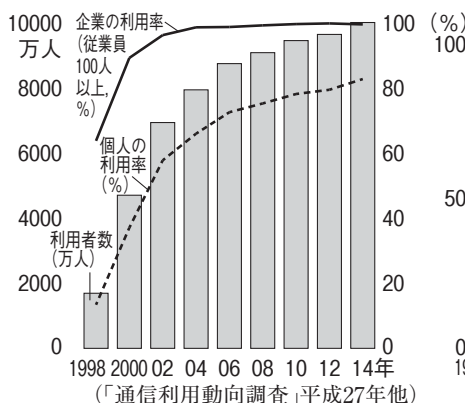
# 1 現代社会と私たちの生活

1章

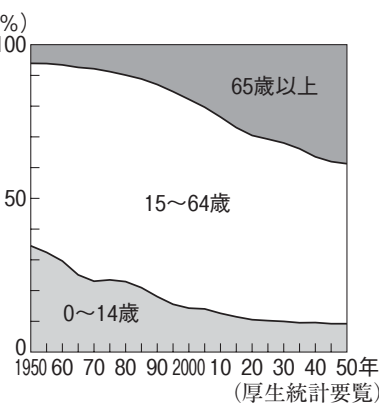
現代社会と私たちの生活



▲日本の食料自給率の推移



▲日本のインターネット利用者数と利用率の推移



▲日本の年齢別人口構成の推移

## ① 現代社会の特色

(1) **グローバル化**…大量の人、物、お金、情報などが国境をこえて広がり、地球規模で世界の一体化が進むこと。貿易では価格などの面で国際競争が加速したほか、得意分野の製品を輸出し、不得意な製品を輸入する**国際分業**が進んだ。日本では**食料自給率**の低下が課題。

- ① 国際協力…国際的な問題について、各国が協力して取り組むことが重要になった。
- ② **多文化社会**…民族、宗教などの異なる人々が、互いの文化を尊重し、助け合いながら共存する社会のこと。

(2) **情報化**…**情報通信技術 (ICT)**が発達した現代の社会(**情報社会**)では、社会における情報が果たす役割が大きくなる**情報化**が進んだ。

- ① **インターネット**…世界中に張りめぐらされたコンピューター通信のネットワーク。
- ② **情報リテラシー**…自分が必要とする情報を見極め、正しく活用する力のこと。
- ③ 課題…コンピューターを扱う能力差によって生じる**情報格差**(デジタルディバイド)や、情報を正しく利用していく態度(**情報モラル**)など。

(3) **少子高齢化**…日本では、出生率の減少(少子化)と、平均寿命ののびなどで高齢者の割合の増加(高齢化)が同時に進行し、**少子高齢社会**となっている。

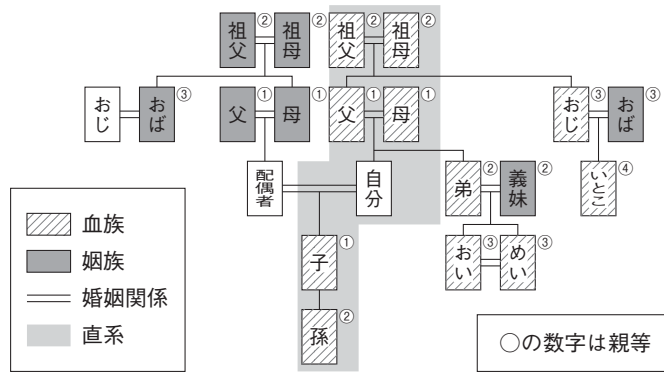
- ① **合計特殊出生率**…一人の女性が一生のあいだに産む子どもの平均人数。
- ② **高齢化**…総人口に占める65歳以上の人口の割合が7%以上の社会を**高齢化社会**、14%以上の社会を**高齢社会**、21%以上の社会を**超高齢社会**という。日本は**超高齢社会**。
- ③ **家族の形の多様化**…三世帯世帯の割合は減少し、**核家族**や**単独世帯**の割合が高くなった。

(4) **持続可能な社会**…現代の世代と将来の世代の幸福を両立させるため、変化し続ける社会で生じる課題を解決していく必要がある。そのために、私たち一人一人の積極的な**社会参画**が望まれる。2011年の**東日本大震災**では、復興の活動の中で、**ボランティア**をはじめとする多くの支援や協力が行われた。

## ② 私たちの生活と文化

(1) **文化**…生活環境の中で身につけた言葉や考え方、生活習慣など。

- ① **科学**…医療技術や食料生産技術の発達などの科学の発展は、人々の暮らしを向上させた。



▲親等図

対立	→	合意
みんなが納得できる方法		
効率	みんなのお金・物・土地などを無駄なく使うようになっているか	
公正	みんなが参加して決定されているか、機会が制限されたり、結果が不当なものになっていないか	

▲対立と合意、効率と公正

- ② **宗教**…神や仏などの人間を超越した存在を信仰し、生きることの意味や世界に関する根本的な問いに答えを見つけ出そうとする。
- ③ **芸術**…美をあらわしたり、創造したりする芸術に触れることで、人生を豊かにする。
- (2) **伝統文化**…歌舞伎や能のように専門家が継承してきた伝統芸能と、衣食住、**年中行事**、**冠婚葬祭**などの庶民によって受け継がれてきた生活文化とがある。
- ① 伝統文化の継承…少子高齢化や過疎化のために継承者不足が課題。**文化財保護法**を制定して、国や地方自治体を中心となって文化財の保存に努めている。
- ② **多文化共生**…国籍、民族、宗教などが異なる人々が、たがいの文化を理解・尊重し(異文化理解)、ともに生きていくこと。
- ③ 日本の2つの文化圏…日本には、**琉球文化**と**アイヌ文化**の2つの独特な文化がある。

### ③ 現代社会の見方や考え方

- (1) **社会生活**…私たちの生活は**社会集団**の中で営まれる。その最も身近な集団が、家族や地域社会である。社会集団に属さなければ生きていけない人間は、**社会的存在**といわれる。
- (2) **家族**…最も身近で基礎的な社会集団で、夫婦を中心にたがいに**血縁関係**で結ばれている。男女の役割意識をもつ人は減ってきているが、まだ根強く残っており、1999年に男女共同参画社会基本法が施行され、男女の区別なく、個人として能力を生かせる社会づくりが進んだ。
- ① **家庭の役割**…家庭は、消費を中心に経済活動を行う単位である。また、家庭は、人間形成の場、子どもや老人などを扶養する場、休息・安らぎの場である。
- ② **憲法・民法と家族**…親族の範囲は6親等内の**血族**、**配偶者**、3親等内の**姻族**。結婚の自由や夫婦の平等を定めている。未成年の子どもに対しては、監督・保護・教育の義務がある。教育を受けるのは子どもの権利でもある。遺産相続は、配偶者が2分の1を相続し、残りを子どもが均分相続する。家族にかかわる法律は、**個人の尊厳**と**両性の本質的平等**に立脚して制定されるべきことが、日本国憲法で定められている。
- (3) **きまり(ルール)をつくる**…社会集団の中で**対立**が発生したとき、解決策をつくり**合意**をめざす必要がある。だれもが納得できる解決策であるためには、**効率**と**公正**に配慮することが大切。また、契約などのルールをつくる場合、全員一致で決めるか、多数決で決めるかの2通りがある。多数決の場合は、少数意見を尊重することに注意を払わなくてはならない。
- (4) **きまり(ルール)を守る**…きまりはたがいの権利や利益を守るものであるから、おたがいに合意した範囲内で、きまりを守る義務や責任が生じる。

<span style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0 10px;">基本演習</span>	<input type="checkbox"/> の 正答数	1回目 問/11問	2回目 問/11問
--	-----------------------------------	--------------	--------------

**1** [対立と合意] 次の表の[ ]にあてはまる語句を答えなさい。

①	みんなが納得できる方法	②	採決の仕方	長所	短所
効率	みんなのお金・物・土地などを無駄なく使うようになっているか		全員一致	みんなが納得する	決定に時間がかかることがある
公正	みんなが参加して決定されているか、機会が制限されたり、結果が不当なものになっていないか		③	一定時間内で決定できる	少数意見が反映されにくい

**2** [現代社会の特色] 次の文の[ ]にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 国境をこえて、文化的・社会的・経済的な結びつきが地球規模で広がることを[ ]化という。
- (2) 現代は、大量の情報が生産され、その情報の活用によって経済などのしくみや社会生活が変化していく[ ]社会となっている。
- (3) 情報通信技術(ICT)が発達した現代の社会では、必要な情報を見極め、正しく活用する力である[ ]が重要になっている。
- (4) 現代の世代だけでなく、将来の世代の利益を考慮して開発と環境保全を両立しようとする社会を[ ]な社会という。

**2の答え**

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_
- (4) \_\_\_\_\_

**3** [私たちの生活と文化] 次の問いに答えなさい。

- (1) 人々が人生での迷いや不安を抱いたとき、超越的な存在を信仰することで、生きる意味のヒントを見つけ出そうとするものは何か。
- (2) 歌舞伎や能などの伝統芸能や、衣食住や冠婚葬祭などの生活文化など、長い歴史の中で生まれ受け継がれてきた文化を何というか。
- (3) 文化的財産の保護を目的として、1950年に制定された法律を何というか。
- (4) 国籍、民族、宗教などが異なるものどしどしが、たがいの文化を理解し、尊重しながらともに生きていくことを何というか。

**3の答え**

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_
- (4) \_\_\_\_\_

**4** [社会生活] 次の文の[ ]にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 家族は、最も身近で基礎的な[ ]で、夫婦を中心にたがいに血縁関係で結ばれている。
- (2) 親族の範囲は、6親等内の血のつながりのある[ ]、配偶者、3親等内の姻族と定められている。
- (3) 日本国憲法第24条では、家族についての法律は、個人の尊厳と両性の[ ]に立脚して制定されるべきであると定めている。

**4の答え**

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_

●●●●● ● **練習問題** ●●●●●

**1** 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

現代の日本社会では、<sup>㉑</sup>一人の女性が一生のあいだに生む子どもの平均人数が減り、その一方で、平均寿命がのびたことで少子高齢化を迎えている。加えて家族形態の多様化が進み、一人暮らしや<sup>㉒</sup>夫婦だけの世帯の割合が増えている。

私たちの社会は、少子高齢化、グローバル化、情報化などの影<sup>えい</sup>響を受けて、変化し続けており、<sup>㉓</sup>「持続可能な社会」をめざした取り組みが求められている。

- (1) 下線部㉑について、次の問いに答えなさい。
- ① 下線部㉑は、何とよばれているか
  - ② 現代の日本社会において、下線部㉑の減少が進んだ理由として誤っているものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
    - ア 国や地方自治体から子育ての支援がないから。
    - イ 子どもの教育にお金がかかるから。
    - ウ 働くことと子育ての両立が難しいから。
    - エ 高齢で生むことに健康上の不安があるから。
- (2) 下線部㉒や親と未婚の子どもからなる家族を何というか。
- 考**(3) 下線部㉓はどのような社会のことか。解答欄の書き出しに続けて、簡潔に説明しなさい。

**1**の答え

- (1) ① -----  
 -----  
 -----
- ② -----  
 -----  
 -----
- (2) -----  
 -----  
 -----
- (3) 現代の世代だけ  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----

**2** 次の日本国憲法の条文を読んで、あとの問いに答えなさい。

第24条② 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び<sup>㉑</sup>家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の<sup>☒</sup>Xと<sup>㉒</sup>両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

- (1) 下線部㉑に関連して、にあてはまる語句を答えなさい。
- 家族、学校、会社などの社会集団に属し、社会の一員としてかかわって生きていく人間はとよばれる。
- (2) 下線部㉒に関連して、男女の区別なく、個人として能力を生かせる社会づくりを進めるため、1999年に施行された法律の名称を答えなさい。
- (3) 文中の<sup>☒</sup>Xにあてはまる語句を答えなさい。

**2**の答え

- (1) -----  
 -----
- (2) -----  
 -----
- (3) -----  
 -----